

－別海町ふるさと交流館再整備計画・基本設計(案)－
パブリックコメント用付帯資料

別海町

～観光に関するアンケート調査結果～

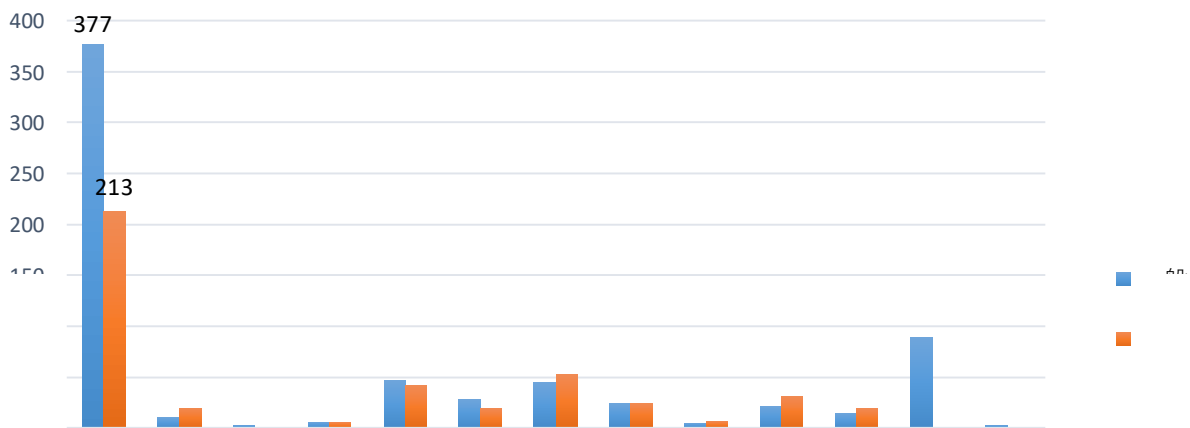
別海町には、魅力的な観光資源がたくさんありますが、観光客が長い時間滞在するには至っていないという課題があり、観光による経済効果を高めるには、観光客の誘致や滞在時間の拡大に繋がる「関心を引く特色ある観光施策」や「滞在時間を増やす新たな拠点づくり」を推進していく必要があります。

今後、町が取組を推し進めていくための資料とするため、アンケートを実施し、結果をとりまとめました。

また、アンケート結果については現在実施している、『地域活性化拠点再生構想（ふるさと交流館周辺）』作成業務へも情報共有し、反映できるように進めています。

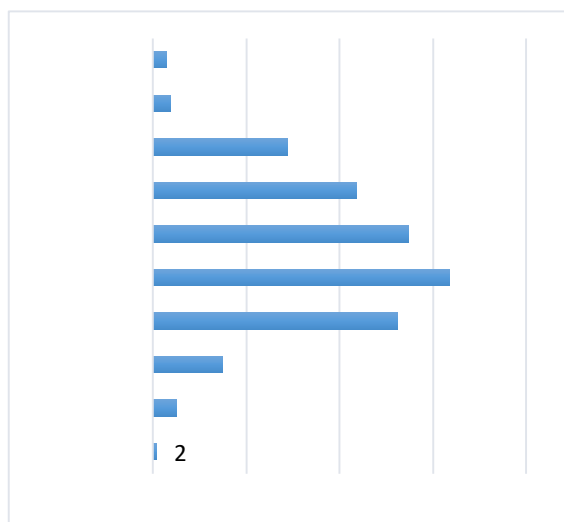
○ アンケート実施期間 令和6年9月1日から9月30日まで

○ 回答者の居住地 回答数 1,114人 （一般676人 中高生438人）

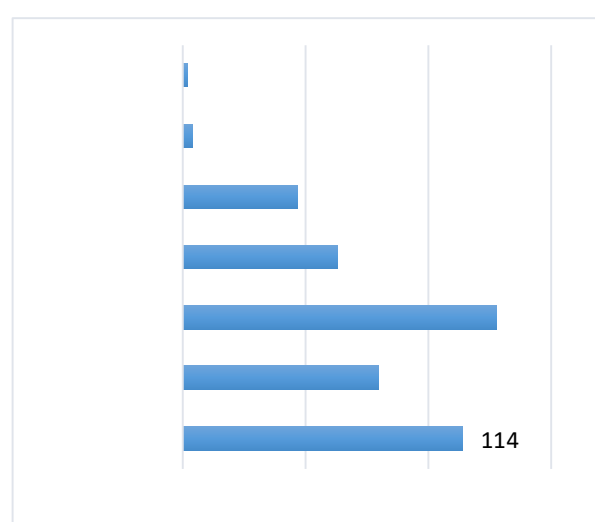


○ 回答者の年齢（学年）

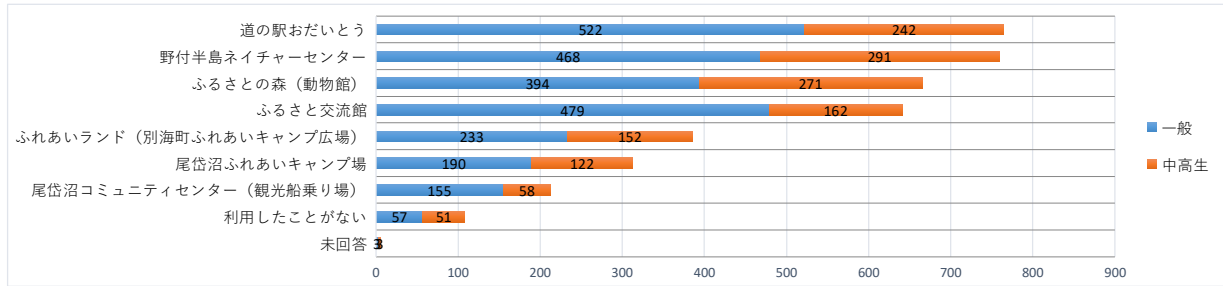
※一般回答



※中高生回答

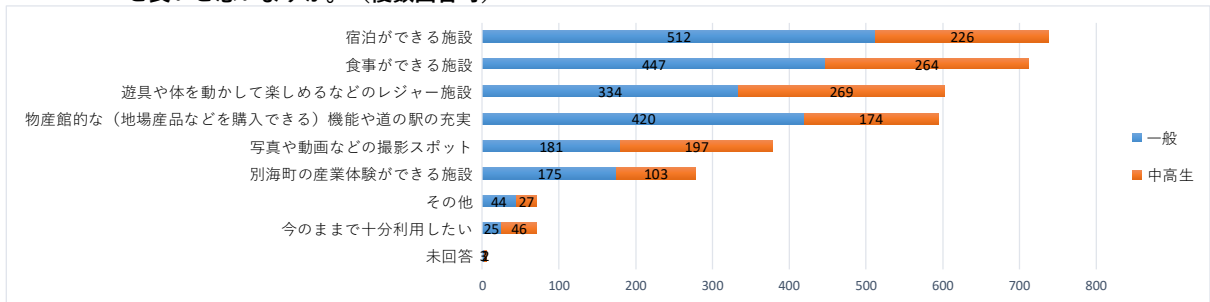


問1 観光施設のうち、利用したことがある施設をお答えください。（複数回答可）



合計回答数	
道の駅おだいとう	764
野付半島ネイチャーセンター	759
ふるさとの森（動物館）	665
ふるさと交流館	641
ふれあいランド（別海町ふれあいキャンプ広場）	385
尾岱沼ふれあいキャンプ場	312
尾岱沼コミュニティセンター（観光船乗り場）	213
利用したことがない	108
未回答	6

問2 別海町により長く滞在してもらうためには、どのような施設や機能がある（増える）と良いと思いますか。（複数回答可）

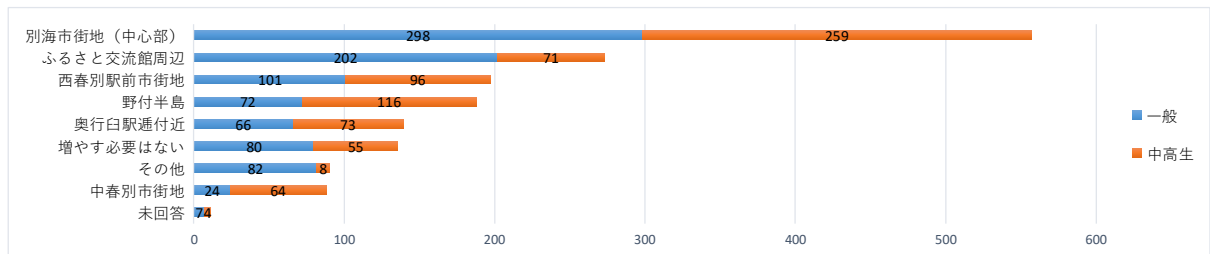


合計回答数	
宿泊ができる施設	738
食事ができる施設	711
遊具や体を動かして楽しめるなどのレジャー施設	603
物産館的な（地場産品などを購入できる）機能や道の駅の充実	594
写真や動画などの撮影スポット	378
別海町の産業体験ができる施設	278
今のままで十分利用したい	71
その他	71
未回答	5

その他のコメント

- ・ショッピングモール ・空き家の貸し出し ・施設を一拠点に集中的に設置する ・子育て世代も利用しやすい施設
- ・自然や歴史文化が体験できる施設 ・情報発信の充実

問3 道内外には、道の駅を2つ以上設置している自治体があります。別海町で道の駅を増やす場合、どこに設置すると良いと思いますか。（複数回答可）

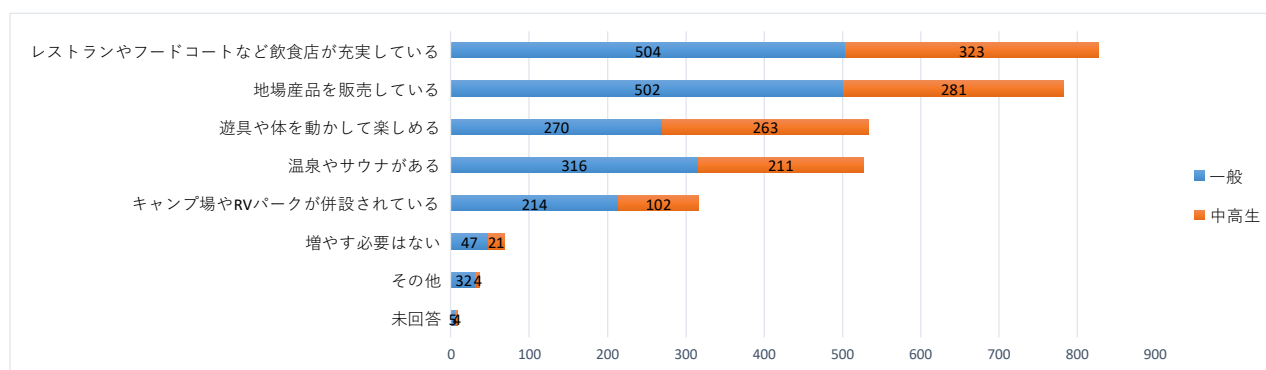


合計回答数	
別海市街地（中心部）	557
ふるさと交流館周辺	273
西春別駅前市街地	197
野付半島	188
奥行白駅通付近	139
増やす必要はない	135
その他	90
中春別市街地	88
未回答	11

その他のコメント

- ・上春別（国道272号線沿い） ・中西別（統合される学校跡を利用して） ・西春別
- ・今の道の駅を拡張したら良い

問4 別海町で道の駅を増やす場合、どのような機能があると良いと思いますか。（複数回答可）



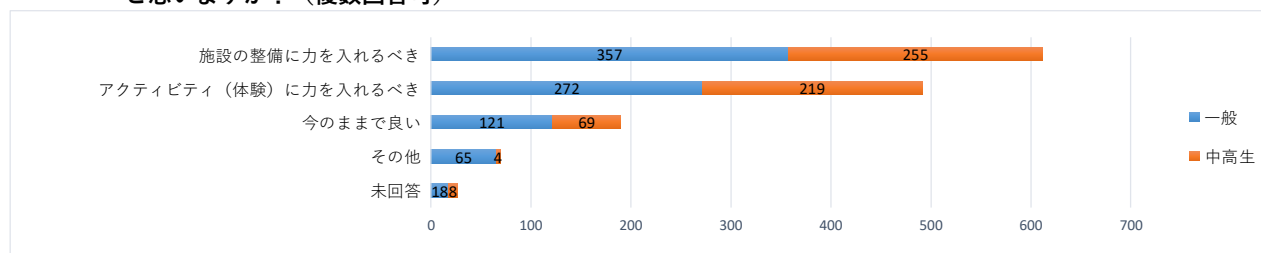
合計回答数

レストランやフードコートなど飲食店が充実している	827
地場産品を販売している	783
遊具や体を動かして楽しめる	533
温泉やサウナがある	527
キャンプ場やRVパークが併設されている	316
増やす必要はない	68
その他	36
未回答	9

その他のコメント

・展望台 ・ドッグラン ・宿泊施設 ・魚釣りができる ・ネットカフェ ・別海りょウシくんに見える

問5 町内には、キャンプができる施設が3カ所あります。（別海ふれあいキャンプ広場、尾岱沼ふれあいキャンプ場、小野沼公園内）これらの施設をさらに活用するためには、どのような取組を行うと良いと思いますか？（複数回答可）



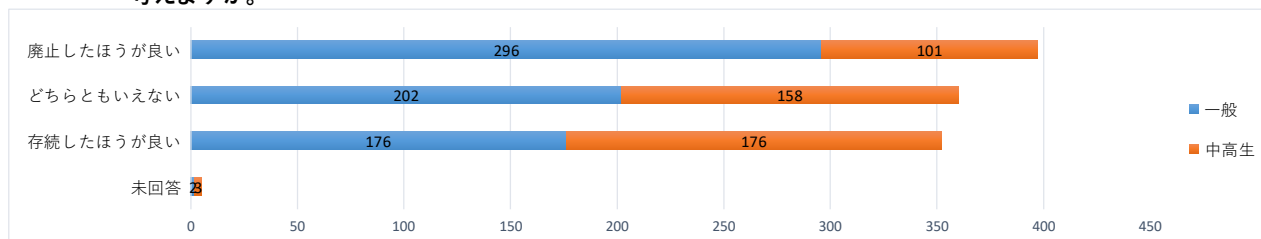
合計回答数

施設の整備に力を入れるべき	612
アクティビティ（体験）に力を入れるべき	491
今のままで良い	190
その他	69
未回答	26

その他のコメント

・SNSやHP等を活用し広く宣伝する ・熊、虫対策 ・冬季営業

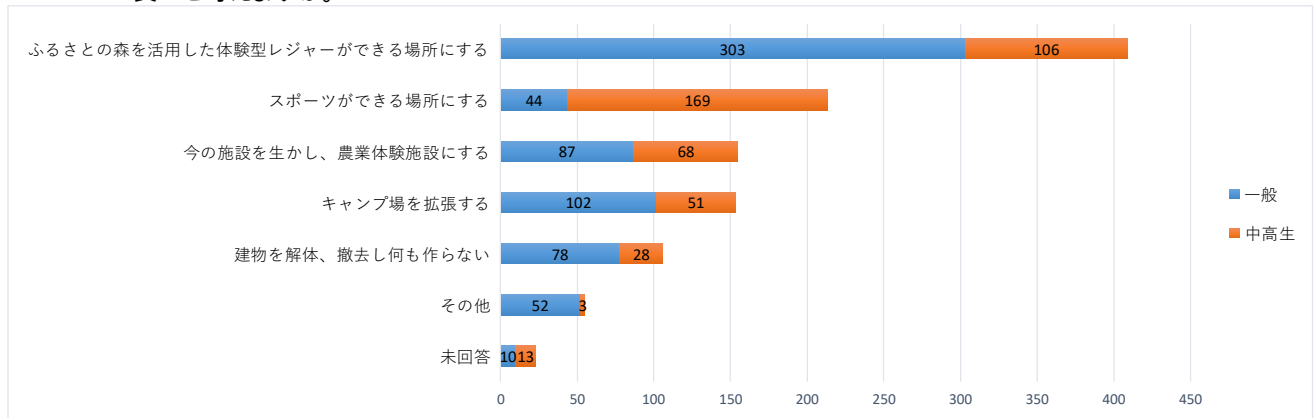
問6 ふるさとの森動物館は、現在新たに動物を受け入れる予定はなく、飼養している全ての動物が死亡した際に施設用途の変更や廃止も視野に入れた検討をするとしていますが、存続についてどのように考えますか。



合計回答数

廃止したほうが良い	397
どちらともいえない	360
存続したほうが良い	352
未回答	5

問7 もし、ふるさとの森動物館を廃止することになった場合、跡地についてどのように利活用したら良いと考えますか。



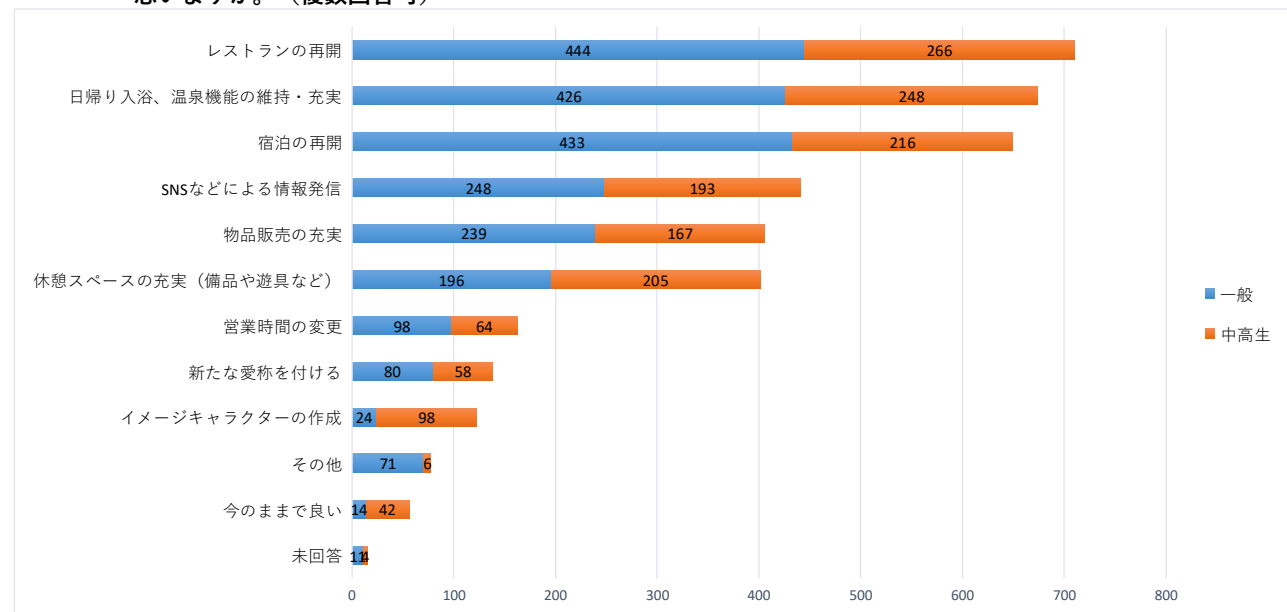
合計回答数

ふるさとの森を活用した体験型レジャーができる場所にする	409
スポーツができる場所にする	213
今の施設を生かし、農業体験施設にする	155
キャンプ場を拡張する	153
建物を解体、撤去し何も作らない	106
その他	55
未回答	23

その他コメント

- ・誰でも利用できる休憩所を作る
- ・RVパーク
- ・無理に何かをするのではなく様子を見てほしい
- ・動物の保護施設（野生動物含む）
- ・子供たちが遊べる場所

問8 ふるさと交流館がさらに利活用されるためには、どのような取組を行うと良いと思いますか。（複数回答可）



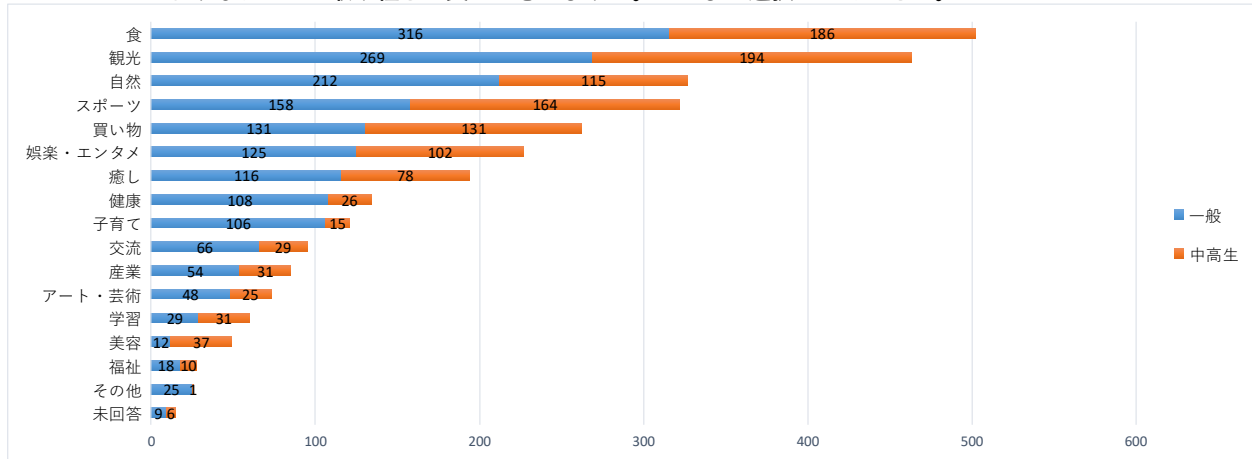
合計回答数

レストランの再開	710
日帰り入浴、温泉機能の維持・充実	674
宿泊の再開	649
SNSなどによる情報発信	441
物品販売の充実	406
休憩スペースの充実（備品や遊具など）	401
営業時間の変更	162
新たな愛称を付ける	138
イメージキャラクターの作成	122
その他	77
今のままで良い	56
未回答	15

その他のコメント

- ・フィットネス施設を作る（エステやネイルサロン等のリラクゼーションを含む）
- ・垢すり
- ・町民限定の割引制度
- ・循環バスの運行
- ・案内看板の充実

問9 ふるさと交流館の周辺には、キャンプ場、体育施設や農村広場など、さまざまな施設や体験することができる環境があります。今後、滞在時間を増やす新たな拠点づくりとして、この周辺一体の利活用を検討したいと考えています。ふるさと交流館周辺を一体的に利活用していく場合、どのようなテーマで取り組むと良いと思いますか。3つまで選択してください。

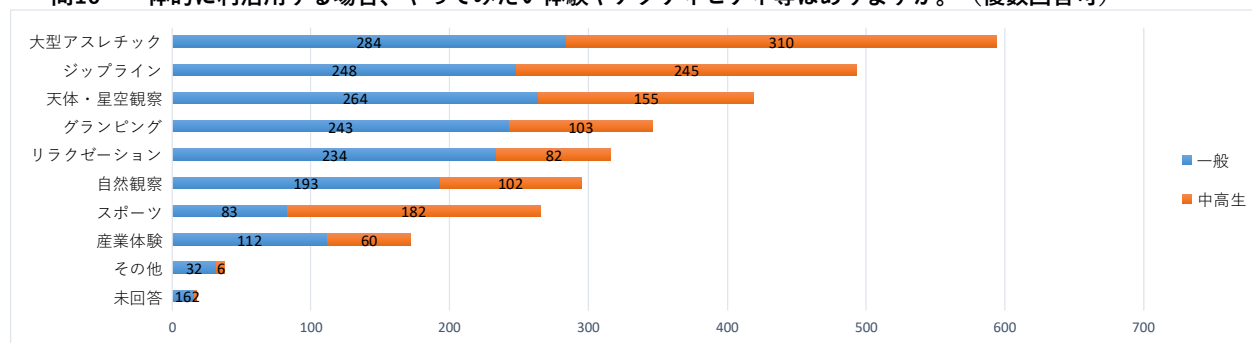


	合計回答数
食	502
観光	463
自然	327
スポーツ	322
買い物	262
娯楽・エンタメ	227
癒し	194
健康	134
子育て	121
交流	95
産業	85
アート・芸術	73
学習	60
美容	49
福祉	28
その他	26
未回答	15

その他のコメント

- ・特産物を利用したレストランを開店させる ・噴水のある公園や足湯ができる ・交流、情報交換の場
- ・大人が使うものではなく、子供主体の整備方針を持つ ・何もいらない、今のままでよい

問10 一体的に利活用する場合、やってみたい体験やアクティビティ等がありますか。（複数回答可）

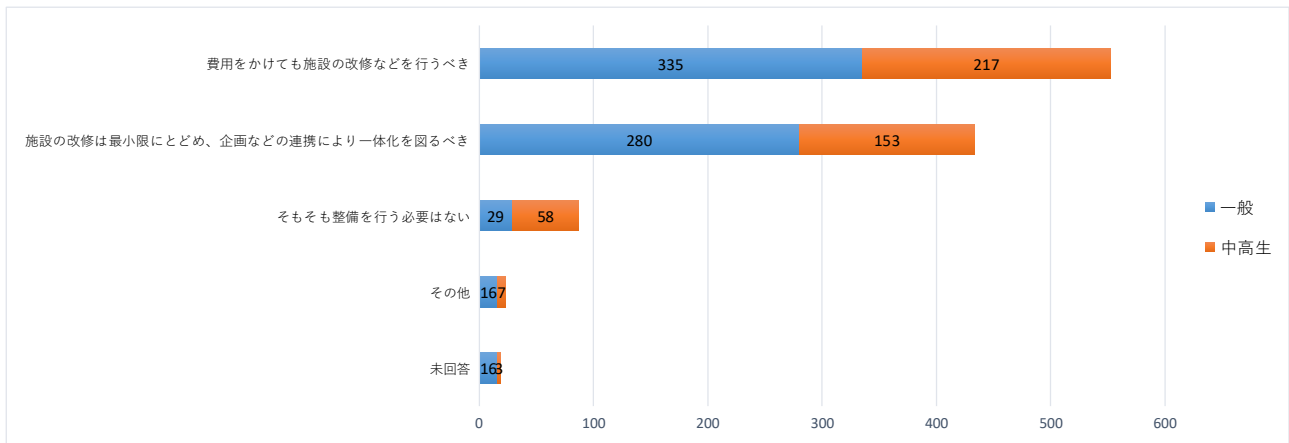


	合計回答数
大型アスレチック	594
ジップライン	493
天体・星空観察	419
グランピング	346
リラクゼーション	316
自然観察	295
スポーツ	265
産業体験	172
その他	38
未回答	18

その他のコメント

- ・利活用する必要はない、今のままでよい ・ピクニックスペース ・芝生部分の有効活用
- ・坂を利用した子供が遊べる規模の小さなスキー、スノーボードパーク

問11 ふるさと交流館周辺一体の利活用にあたり再整備等を行うことについてどのように思いますか。

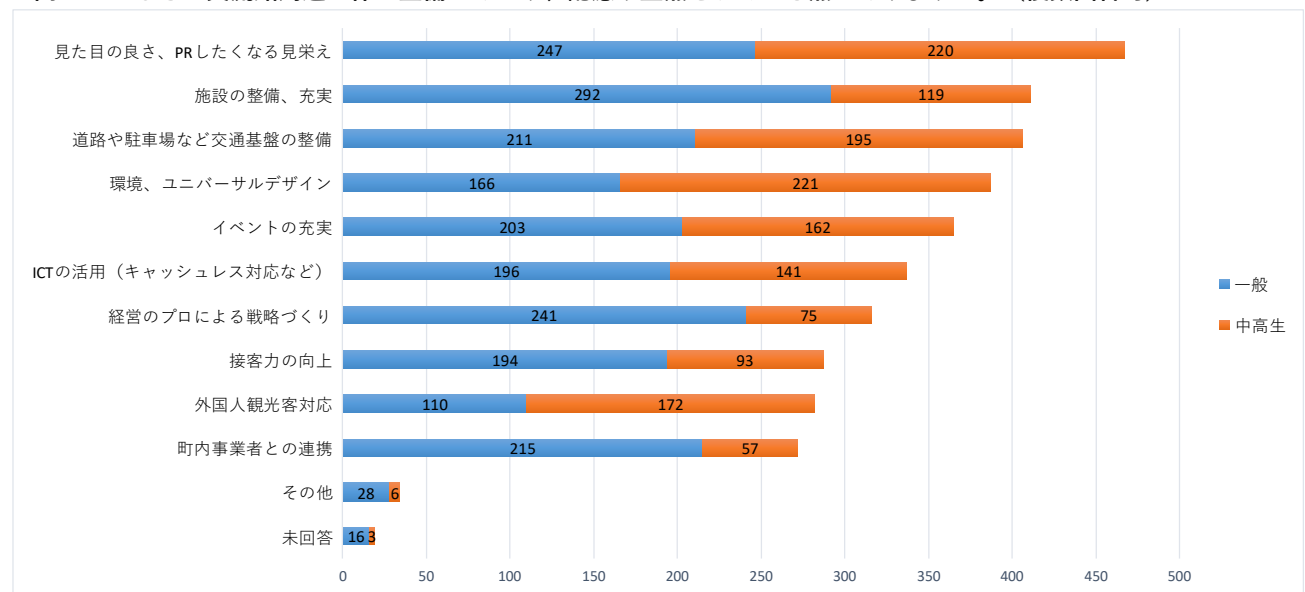


	合計回答数
費用をかけても施設の改修などを行うべき	552
施設の改修は最小限にとどめ、企画などの連携により一体化を図るべき	433
そもそも整備を行う必要はない	87
その他	23
未回答	19

その他のコメント

- ・必要性に応じて費用をかけることはいいと思いますが、十分な協議や明確なビジョンが必要ではないか
- ・施設の改修も含むが、大型商業施設の誘致や企業と連携して長期的な視点で人が集まれるような複合施設を目指すべきと思う
- ・本当に今後をしっかりと見詰め考えた上で20年～30年後も使用される様な環境作りを目指してほしい
- ・目的、ターゲットなどの目標を明確に立て、収益を生む取り組みをして欲しい

問12 ふるさと交流館周辺一体の整備にあたり、配慮や重点をおくべき点がありますか。（複数回答可）



	合計回答数
見た目の良さ、PRしたくなる見栄え	467
施設の整備、充実	411
道路や駐車場など交通基盤の整備	406
環境、ユニバーサルデザイン	387
イベントの充実	365
ICTの活用（キャッシュレス対応など）	337
経営のプロによる戦略づくり	316
接客力の向上	287
外国人観光客対応	282
町内事業者との連携	272
その他	34
未回答	19

その他のコメント

- ・町民の高齢化への配慮と共に若年層も来やすい空間づくり
- ・地域おこし協力隊を活用し魅力的なイベントを定期的に企画する
- ・施設の清潔さと行き届いたメンテナンス
- ・統一的な施設看板の掲示とPR活動

問13 その他、観光交流施設や施策について、ご意見などありましたらご記入ください。《自由記載》

一般のコメント

- ・他の町にない特徴のある施設や飲食店等 “別海町に遊びに行きたい！”と思える様な物を作って欲しい。
 - ・箱物を増やすのではなく中身、内容の充実を！
 - ・アンケート調査をするがその後どう変わるのか・・・みえる形で結果があればよいと思う。
 - ・良い施設、良い環境が揃っているのに全く活かせていない。
 - ・別海町内に宿泊施設が少なすぎて、親戚や友人が来た際に泊まる場所が無く、困っている。宿泊も出来て、食事もあり、温泉がある施設は利便性が良いので、是非営業再開をお願いしたい。圧倒的に宿泊施設が不足している。
 - ・地域の人が一番活用できることが観光や遠方からの集客につながる。地域を活用した施策に軸足を置いて取り組んでもらいたい。
 - ・本気で別海町の発展のために、町全体で施策を考え、ゴールのビジョンを持って、実行して欲しい。
 - ・無差別に広報をしても、他の市町村の施設に紛れて影が薄くなる為、効果が少ないと感じるため何かに特化した観光をPRし、予算や認知度が大きくなってきたら事業拡大を目指す。
- SNSの広報活動は少ない予算で効果的に行える。高評価や、リツイートなどを客にしてもらい、認知度を広げていく。
- ・別海ふれあいキャンプ広場では、温泉施設が近く整備が行き届いていて快適に過ごさせていただきました。雨天時や温泉施設の休みの日には、近隣に宿泊施設が欲しいと思いました。
 - ・費用を掛けてもいいが、それを回収できるような経営戦略が必要だと思う。そこが実現可能なら取り組むべきだと思う。
 - ・スポーツの町べっかいと掲げているので、スポーツに特化するべきと思います。
 - ・ふるさと森を整備してキャンプ場と温泉施設を一体化。冬も森が利用出来る様にしてほしい。
 - ・観光客を呼び込むために必要なことは、そこに住んでいる町民が我が町に魅力を感じているかどうかで、流行りに乗っても直ぐに、飽きられる。地元民が楽しめる町にして欲しい。
 - ・街の中心部が閉まっている店舗も多く閑散としているのが勿体無いと思うし、こんな状況だから町外からの人も来ない一因となっているのでは？と思う。地元を盛り上げて欲しい。
 - ・ジビエ料理が食べられる場所が欲しい。
 - ・特殊出生率が上位で子供支援が充実しているにもかかわらず、子供たち特に中高生の遊べる場所が少ない。中高生の娯楽スペースの拡充があったら嬉しい。将来、結婚し子供を育てて行く立場で考えると遊ぶ場所が少ないことは難点だと思う。
 - ・ふるさと交流館の充実に期待したい。今までの中途半端な改修の仕方をしないで、ふるさと納税のお金があるのだから、建て替えてもいいくらい。交流館に行けば遊びがてら温泉、宿泊、食事、特産品の買い物、キャンプがてら遊んで温泉、スポーツの帰りに温泉食事などできたらいいと思う。
 - ・シャトルバスなど車を持たない人向けの公共交通も検討してほしい。
 - ・町内の親子連れが楽しめる環境を望む。町内の親子連れが楽しければ自然と町外にも発信される。キャンプ場内の遊具も町内の人は使いづらい状況なので、ふるさと交流館周辺の野外で遊べる環境があったらいい。
- ふるさと交流館内もキッズスペースやゆっくりくつろげる場所、高齢者が弁当持ち寄ってくつろぐ場所、スーパー銭湯的に宿泊まりできるようになるといい(宿泊施設が少ないので)
- ・[観光交流施設]読んで字の如く。観光とは？交流とは？人がその町の特色を体験する事であり、そこで交流する事。施設を造れば、人は集まり、交流すると勘違いしそうだが、それは一過性のものであり長くは続かない。施設の管理費だけで、町の財政は逼迫する。人と人が触れ合う事。町の特色を他の地域の人々に教えてもらう交流に尽力す
 - ・交流館隣接の広大な傾斜地の整備と利活用を。現状は雑草の傾斜地、桜の木、檜の木数本、今やステージは隠れているという感じになってしまってます。「愛の鐘」に桜、街を見下ろす風景、素晴らしい環境を生かしたいですね。
 - ・若い町民の意見を組み込むべき。老人が案を出しても碌な案がでない。一次産業は大事だと思うがイメージ戦略がそれしかないのは他に魅力がないから。
 - ・車で走っていても、看板が無い。役場、病院すらわからない。少し農道に入れば、道路標識すら剥げていて、ナビなしでは走れない、もう少し親切な街になって欲しい。

問13 その他、観光交流施設や施策について、ご意見などありましたらご記入ください。《自由記載》

中高生のコメント

- ・若い世代へのアプローチが少ない気がする。少子化の影響で若者は減っているが、観光施策の充実に取り組み、ツーリズムの改善を図ることで、若い世代へのアプローチがより充実すると思う。
- ・もっとスポーツを楽しめる場所を増やし欲しい。
- ・鉄道に関する施設の充実や大規模な道の駅が欲しい。尾岱沼の道の駅の大型化。
- ・フードコートや食事ができる場所を増やして欲しい。ショッピングモールを誘致して欲しい。
- ・町外の人にも別海町を知ってもらうことが大切だと思う。
- ・食べ物以外の魅力の発掘、冬シーズンの対策、名付けセンスの向上。
- ・生活が便利になる店を増やして欲しい。
- ・公民館をもっと充実させて欲しい。
- ・公園や遊園地とか子供が遊べるところが増えて欲しい。
- ・沢山の人が楽しめるような施設造成を心掛けてほしい。
- ・宿を増やしたら良いと思う。

※自由記載のご記入いただいた意見については、重複する内容をまとめ、集約したうえで掲載しておりますので、ご了承願います。

結果の概要

- ふるさと交流館によって、圏域内に追加的な新たな最終需要額が

約23億円発生した場合の、圏内経済に及ぼす効果を
「平成27年北海道内地域間産業連関表（釧路・根室地域、
64部門」（北海道開発局）により推計した。

- 生産誘発額 33.95 億円発生
- GDPを 17.49 億円押し上げ^(注)
- これにより、 227 人/年の新規就業を誘発

(注)ただし、家計外消費を含む

(単位：億円、人/年)

	生産誘発額	粗付加価値誘発額	雇用者所得誘発額	就業誘発人数	雇用者誘発人数
直接効果	23	-	-	149	136
1次生産誘発効果	7	-	-	46	41
2次生産誘発効果	4	-	-	32	27
合 計	33.95	17	11	227	204

(注)四捨五入の関係で、内訳の合計と合計項目の値が一致しないことがある。

(参考)

- ・ 波及効果の分析には北海道開発局「平成27年北海道内地域間産業連関表」（釧路・根室地域、64部門表）を使用
- ・ 実体経済においては、生産に増減があった場合、一人あたりの就業時間を増減させることで対応することも考えられるため、すぐに雇用の増減に結びつくわけではないことに留意。

生産誘発額等

(単位：億円)

部門分類	与件データ		生産誘発額		合 計	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	分 類
	最終需要額	直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果				
農 業	0	0	0	0	0	0	0	農
林 業	0	0	0	0	0	0	0	林
漁 業	0	0	0	0	0	0	0	漁
鉱 業	0	0	0	0	0	0	0	鉱
製造業	0	0	2	0	2	1	0	製
建 設	23	23	0	0	23	11	8	建
電力・ガス・水道	0	0	0	0	0	0	0	電
商 業	0	0	1	1	2	1	1	商
金融・保険・不動産	0	0	0	1	1	1	0	金
運輸・情報通信	0	0	1	0	1	1	0	運
公 務	0	0	0	0	0	0	0	公
サービス業	0	0	2	1	3	2	1	サ
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	分
合 計	23	23	7	4	34	17	11	計

(注)四捨五入の関係で、内訳の合計と合計項目の値が一致しないことがある。

図1 生産誘発額等

(億円)

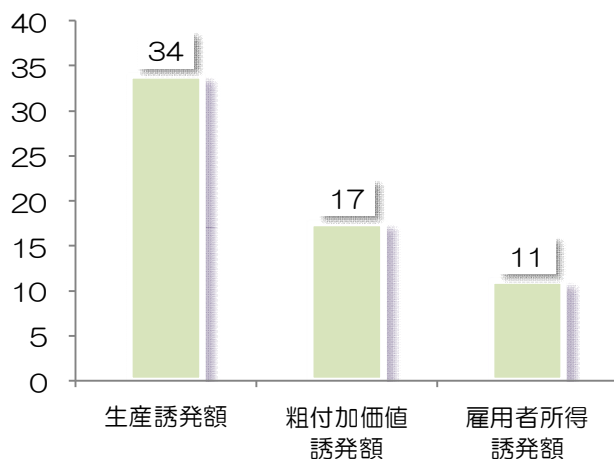


図2 生産誘発額の内

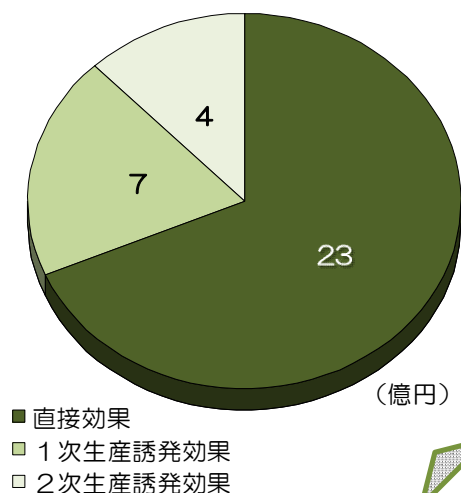
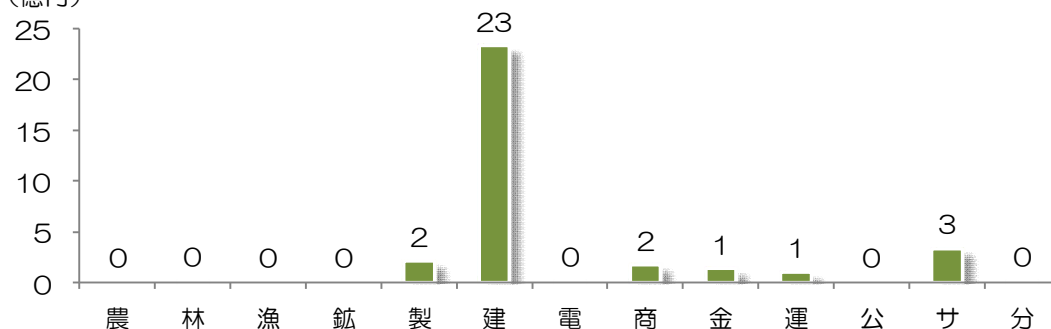


図3 産業別の生産誘発額

(億円)



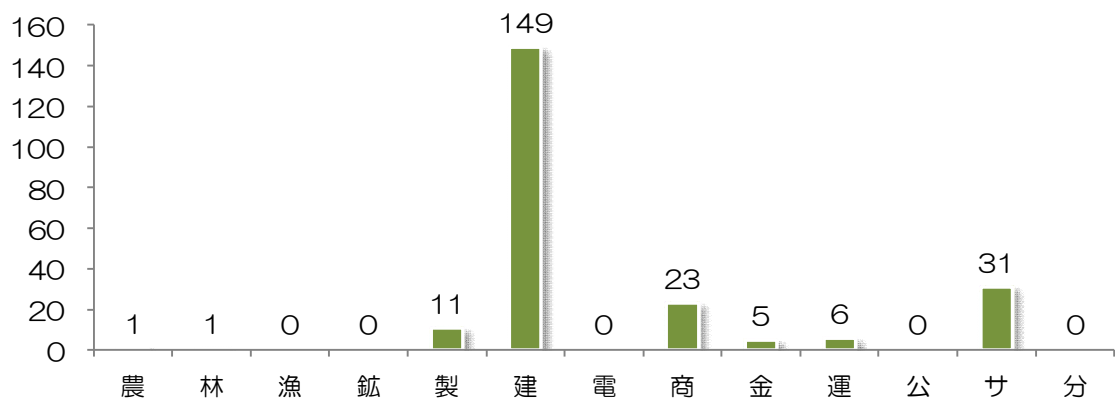
就業誘発等

部門分類	就業誘発人数				左のうち雇用誘発人数※				分類
	直接効果	1次生産誘発効果	2次生産誘発効果	合計	直接効果	1次生産誘発効果	2次生産誘発効果	合計	
農業	0	0	1	1	0	0	0	0	農
林業	0	1	0	1	0	1	0	1	林
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	漁
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	鉱
製造業	0	10	1	11	0	9	1	10	製
建設	149	0	0	149	136	0	0	136	建
電力・ガス・水道	0	0	0	0	0	0	0	0	電
商業	0	13	10	23	0	12	9	21	商
金融・保険・不動産	0	2	3	5	0	1	2	3	金
運輸・情報通信	0	4	2	6	0	4	2	6	運
公務	0	0	0	0	0	0	0	0	公
サービス業	0	16	15	31	0	14	13	27	サ
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0	分
合計	149	46	32	227	136	41	27	204	計

(注) 四捨五入の関係で、内訳の合計と合計項目の値が一致しないことがある。

(人/年)

図4 産業別の就業誘発人数



留意事項

産業連関分析は、一つの経済モデルであって、その分析はある一定の仮定の下に行われています。このため、以下のような点に留意してください。

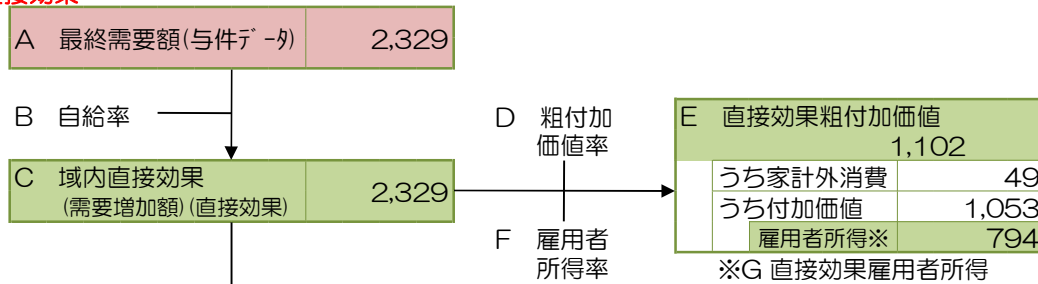
- ・ 1つの産業は、ただ1つの生産物を生産する。
- ・ 生産水準とその投入量は規模に関して一定（規模の経済性は無い）。
- ・ 外部経済・外部不経済のような、各産業間への相互干渉は無い。
- ・ 投入係数は、短期的には変わらないものと仮定している。
- ・ 在庫調整などにより、波及が中断することはないものと仮定している。
- ・ いつ頃、どの産業に、どの程度の波及が及ぶかは分からないものと仮定している。
- ・ 就業誘発人数は、時間外勤務の増減による雇用調整を考慮していない。

ふるさと交流館建設による経済波及効果分析（フロー図）

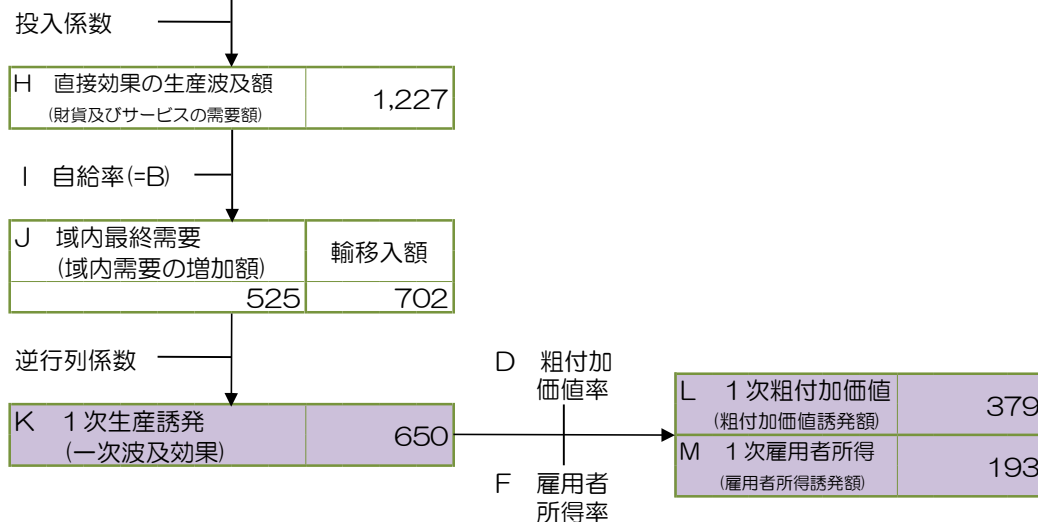
《釧路・根室圏》

(単位：百万円)

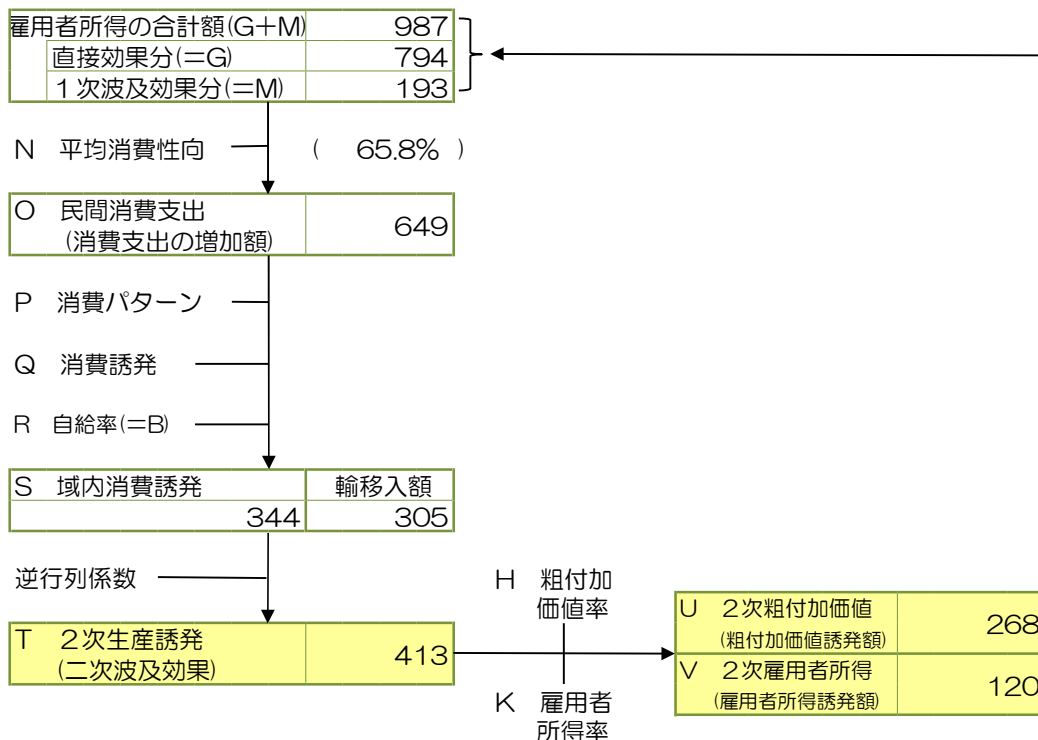
直接効果



1次生産波及効果



2次生産波及効果



(注) 端数処理の関係で、各項目の合計値と合計項目の値が一致しない場合がある。
同様に、他の表の値と一致しない場合がある。

(参考) 生産誘発額等のまとめ

項 目	最終需要額	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産誘発額	2,329	2,329	650	413	3,392
粗付加価値誘発額		1,102	379	268	1,749
雇用者所得誘発額		794	193	120	1,107

(注) 端数処理の関係で、各項目の合計値と合計項目の値が一致しない場合がある。

同様に、他の表の値と一致しない場合がある。

ふるさと交流館の運営による経済波及効果分析

《釧路・根室圏》

結果の概要

■ ふるさと交流館によって、圏域内に追加的な新たな最終需要額が

1.57億円発生した場合の、圏内経済に及ぼす効果を
「平成27年北海道内地域間産業連関表（釧路・根室地域、
64部門」（北海道開発局）により推計した。

■ 生産誘発額 1.58 億円発生
■ GDPを 0.92 億円押し上げ^(注)
■ これにより、 19 人/年の新規就業を誘発

(注)ただし、家計外消費を含む

(単位：億円、人/年)

	生産誘発額	粗付加価値誘発額	雇用者所得誘発額	就業誘発人数	雇用者誘発人数
直接効果	1.1	-	-	17	15
1次生産誘発効果	0.3	-	-	1	1
2次生産誘発効果	0.2	-	-	1	1
合 計	1.6	1	0	19	17

(注)四捨五入の関係で、内訳の合計と合計項目の値が一致しないことがある。

(参考)

- ・ 波及効果の分析には北海道開発局「平成27年北海道内地域間産業連関表」（釧路・根室地域、64部門表）を使用
- ・ 実体経済においては、生産に増減があった場合、一人あたりの就業時間を増減させることで対応することも考えられるため、すぐに雇用の増減に結びつくわけではないことに留意。

生産誘発額等

(単位：億円)

部門分類	与件データ		生産誘発額		合 計	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	分 類
	最終需要額	直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果				
農 業	0	0	0	0	0	0	0	農 業
林 業	0	0	0	0	0	0	0	林 業
漁 業	0	0	0	0	0	0	0	漁 業
鉱 業	0	0	0	0	0	0	0	鉱 業
製造業	0	0	0	0	0	0	0	製 造
建 設	0	0	0	0	0	0	0	建 設
電力・ガス・水道	0	0	0	0	0	0	0	電 気
商 業	0	0	0	0	0	0	0	商 業
金融・保険・不動産	0	0	0	0	0	0	0	金 融
運輸・情報通信	0	0	0	0	0	0	0	運 輸
公 務	0	0	0	0	0	0	0	公 務
サービス業	1	1	0	0	1	1	0	サ ー
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	分 類
合 計	1.6	1.1	0.3	0.2	1.6	0.9	0	計

(注) 四捨五入の関係で、内訳の合計と合計項目の値が一致しないことがある。

図1 生産誘発額等

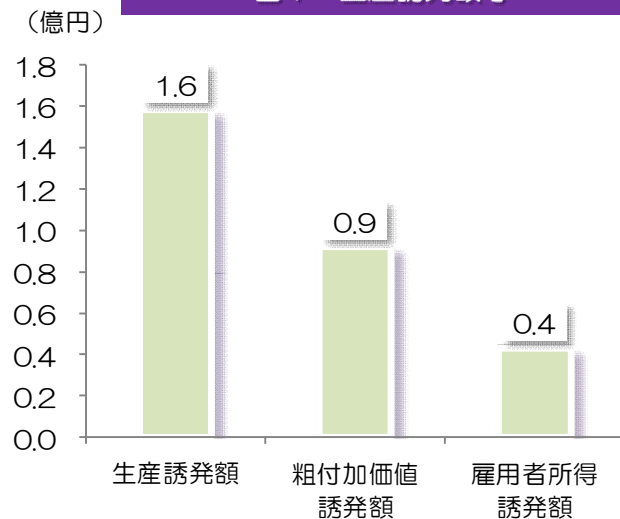


図2 生産誘発額の内

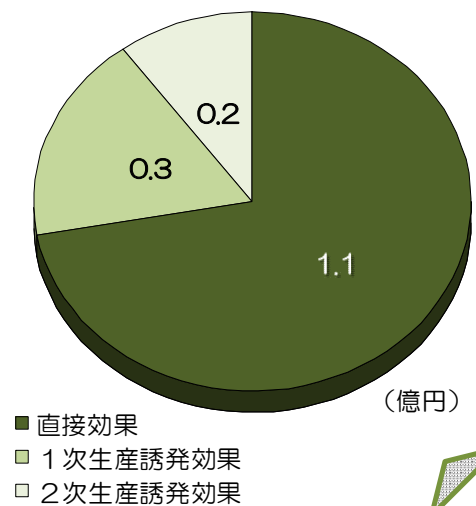
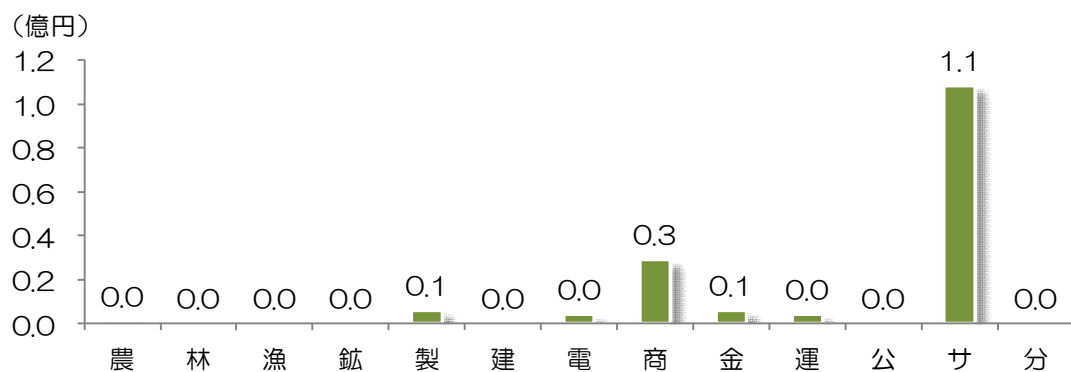


図3 産業別の生産誘発額



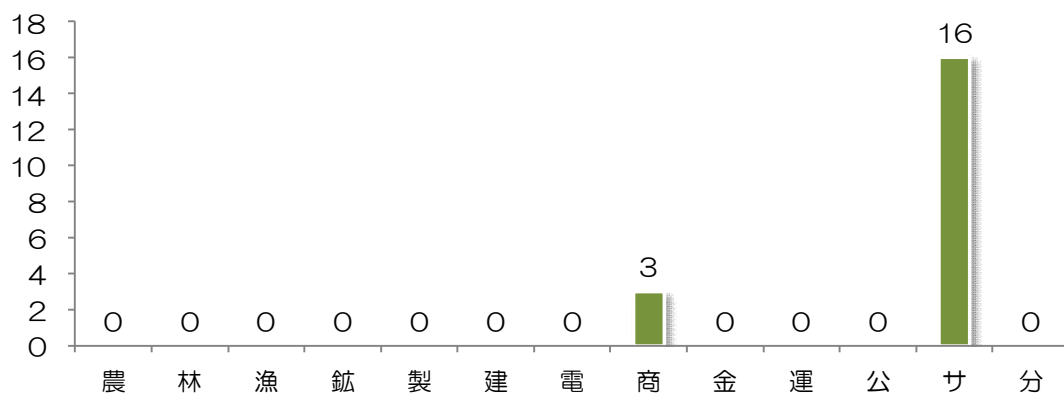
就業誘発等

部門分類	就業誘発人数				左のうち雇用誘発人数※				分類
	直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果	合 計	直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果	合 計	
農 業	0	0	0	0	0	0	0	0	農
林 業	0	0	0	0	0	0	0	0	林
漁 業	0	0	0	0	0	0	0	0	漁
鉱 業	0	0	0	0	0	0	0	0	鉱
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	製
建 設	0	0	0	0	0	0	0	0	建
電力・ガス・水道	0	0	0	0	0	0	0	0	電
商 業	3	0	0	3	3	0	0	3	商
金融・保険・不動産	0	0	0	0	0	0	0	0	金
運輸・情報通信	0	0	0	0	0	0	0	0	運
公 務	0	0	0	0	0	0	0	0	公
サービス業	14	1	1	16	12	1	1	14	サ
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0	分
合 計	17	1	1	19	15	1	1	17	計

(注) 四捨五入の関係で、内訳の合計と合計項目の値が一致しないことがある。

(人/年)

図4 産業別の就業誘発人数



前提条件等

- 北海道開発局「平成27年北海道内地域間産業連関表（釧路・根室地域、64部門表）を用いて経済波及効果を分析。
- 与件データとして与える最終需要額は、次により算定。
 - ・ ●●により、圏域内最終需要が●億円増加したものと仮定する。
 - ・ 詳細別添資料のとおり。
- 1次生産誘発効果は、 $[I - (I - M - N)A]^{-1}$ の均衡産出高モデルにより算出。
- 2次誘発効果は、次のとおり算出。
 - ・ 生産増加（直接及び1次効果）→雇用者所得増加
→家計消費支出増加（新規最終需要の発生）→生産増加（2次効果）
- 2次効果の消費ベクトルは、直接・1次誘発効果における雇用者所得誘発の額に北海道の平均消費性向（総務省「家計調査」による。）を乗じて得た額をもとに平成27年北海道内地域間産業連関表の民間消費支出パターンで分割し算出。
- 就業誘発係数は、平成27年北海道内地域間産業連関表の地域別雇用表及び平成27年北海道内地域間産業連関表の生産額により算出。
 - ・ 就業（雇用）誘発係数＝圏域内従業（雇用）者総数÷生産額（単位百万円）
- 各部門の就業誘発効果は、産業別に次により算出。
 - ・ 就業（雇用）誘発数＝生産誘発額（単位百万円）×就業（雇用）誘発係数

留意事項

産業連関分析は、一つの経済モデルであって、その分析はある一定の仮定の下に行われています。このため、以下のような点に留意してください。

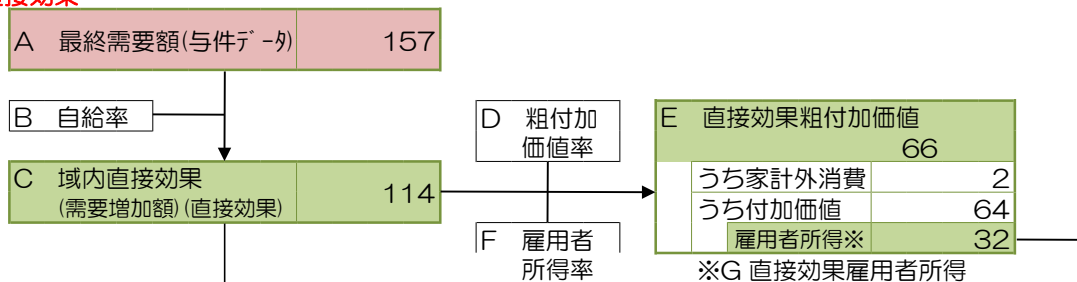
- ・ 1つの産業は、ただ1つの生産物を生産する。
- ・ 生産水準とその投入量は規模に関して一定（規模の経済性は無い）。
- ・ 外部経済・外部不経済のような、各産業間への相互干渉は無い。
- ・ 投入係数は、短期的には変わらないものと仮定している。
- ・ 在庫調整などにより、波及が中断することはないものと仮定している。
- ・ いつ頃、どの産業に、どの程度の波及が及ぶかは分からないものと仮定している。
- ・ 就業誘発人数は、時間外勤務の増減による雇用調整を考慮していない。

ふるさと交流館の運営による経済波及効果分析（フロー図）

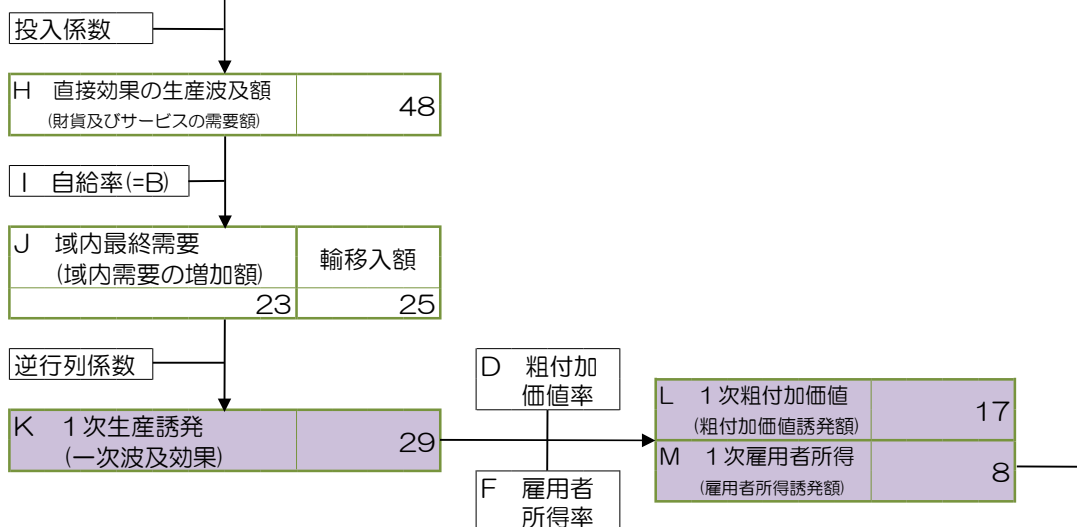
《釧路・根室圏》

(単位：百万円)

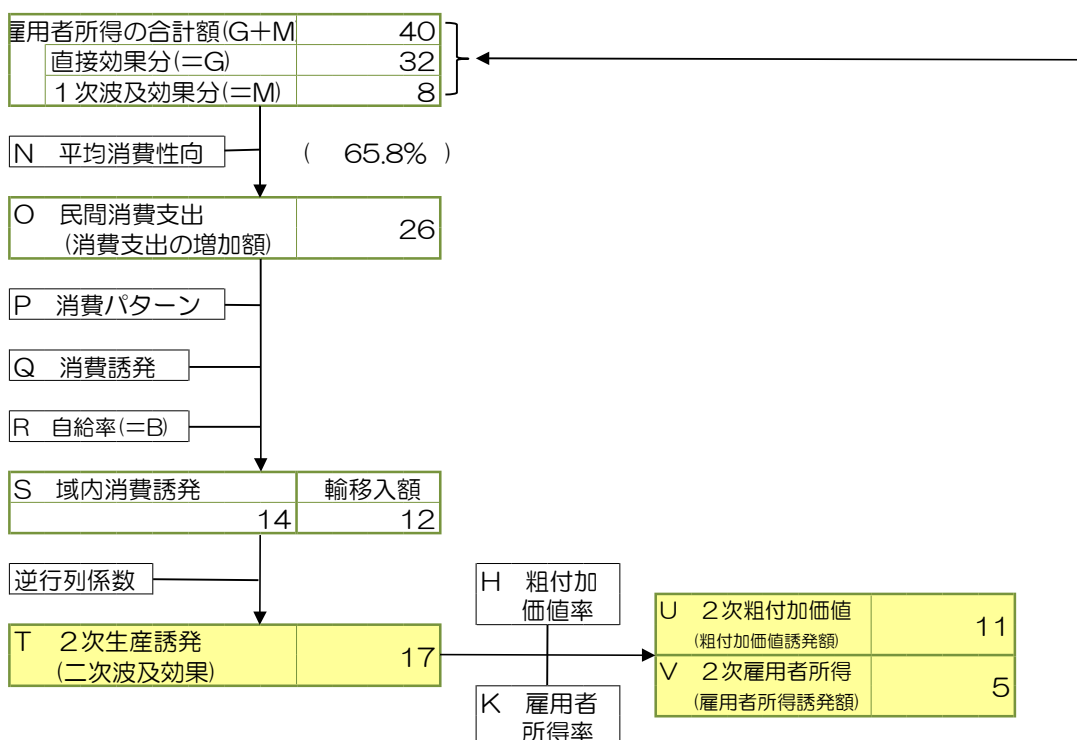
直接効果



1次生産波及効果



2次生産波及効果



(注) 端数処理の関係で、各項目の合計値と合計項目の値が一致しない場合がある。
同様に、他の表の値と一致しない場合がある。

(参考) 生産誘発額等のまとめ

項 目		最終需要額	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産誘発額		157	114	29	17	160
	粗付加価値誘発額		66	17	11	94
	雇用者所得誘発額		32	8	5	45

(注) 端数処理の関係で、各項目の合計値と合計項目の値が一致しない場合がある。

同様に、他の表の値と一致しない場合がある。

【定期的な利用者実績がある自治体の状況】

2 市町別概要

(1) 別海町



人口	14,380 人
面積	1,319.63 km ²
人口密度	10.9 人/km ²

第1次産業	39.8 %
第2次産業	13.8 %
第3次産業	46.4 %

特徴

北海道の東部、根室管内の中央部に位置。北海道らしい大平原が広がる牧歌的な風景が見られる一方、東部には日本最大の砂嘴である野付半島、南部には風蓮湖があり、3市町（根室市、別海町、標津町）にまたがって野付風蓮道立自然公園を形成するなど、さまざまな景観を有し、自然条件に富んでいる。

人口推移

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国社会保険・人口動態研究所「日本の地域別将来推計人口」



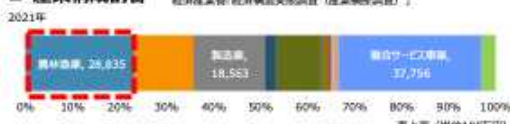
人口増減

【出典】総務省「住民基本台帳に基く人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工。
【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。



産業構成割合

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業構造調査）」



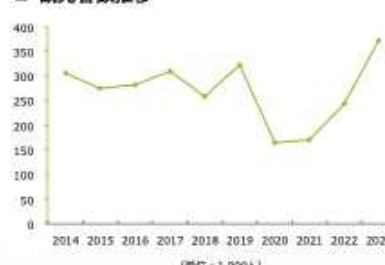
- 農林漁業
- 製造業
- 建設業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業（他に分類されないもの）

観光客数

【出典】北海道観光入込者数調査報告書



観光客数推移



91

2 市町別概要

(2) 根室市



人口	24,636 人
面積	506.25 km ²
人口密度	59.9 人/km ²

第1次産業	19.8 %
第2次産業	21.1 %
第3次産業	59.0 %

特徴

根室市は国の最東端に位置し、北はオホーツク海、南は太平洋を臨み、東は北方領土が連なっている。西には道立野付風蓮自然公園があり自然豊かなまちである。太平洋側は函館、根室港（花咲港区）、歯舞漁港、落石漁港を形成し、船舶の停泊また漁船の避難港として重要な役割を占めている。

人口推移

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国社会保険・人口動態研究所「日本の地域別将来推計人口」



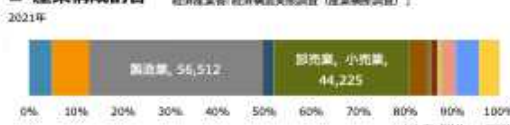
人口増減

【出典】総務省「住民基本台帳に基く人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工。
【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。



産業構成割合

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業構造調査）」



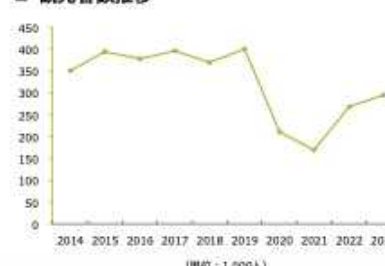
- 農林漁業
- 製造業
- 建設業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業（他に分類されないもの）

観光客数

【出典】北海道観光入込者数調査報告書



観光客数推移



92

2 市町別概要

(6) 中標津町



人口	23,010 人
面積	684.87 km ²
人口密度	33.6 人/km ²

第1次産業	13.4 %
第2次産業	18.6 %
第3次産業	68.0 %

特徴

中標津町は北海道東部、根室振興局管内の標津郡に位置する町である。特に生乳の生産量は全国2位を誇り、乳製品の品質も高く評価されている。町内には中標津空港があり、羽田や新千歳からの直行便が運航されており、アクセスも良好である。商業施設も充実しており、生活の利便性が高い。

人口推移

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



人口増減

【出典】総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（再編加工）。
【注記】2012年までは年推定データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。



産業構成割合

【出典】総務省「経済産業省」経済センサス・活動調査、総務省「経済産業省」経済構造実態調査（産業構造調査）

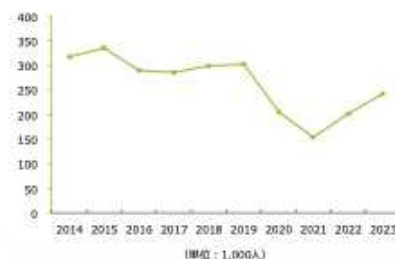


観光客数

【出典】北海道観光人込数調査報告書



観光客数推移



96

2 市町別概要

(7) 標津町



人口	5,023 人
面積	624.69 km ²
人口密度	8.0 人/km ²

第1次産業	31.7 %
第2次産業	16.2 %
第3次産業	52.2 %

特徴

標津町は、北海道東部・根室支庁管内に位置し、オホーツク海と根室海峡に面し、知床半島と野付半島に挟まれた風光明媚な地域。面積約624.7 km²、森林が約69 %を占め、標津川が中心を流れている。古くからサケ漁業・酪農が盛んで、特に秋鮭と天然ホタテの水揚げ量は国内屈指。

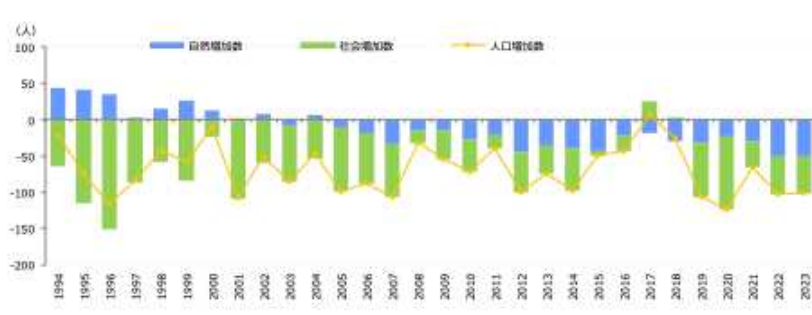
人口推移

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



人口増減

【出典】総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（再編加工）。
【注記】2012年までは年推定データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。



産業構成割合

【出典】総務省「経済産業省」経済センサス・活動調査、総務省「経済産業省」経済構造実態調査（産業構造調査）

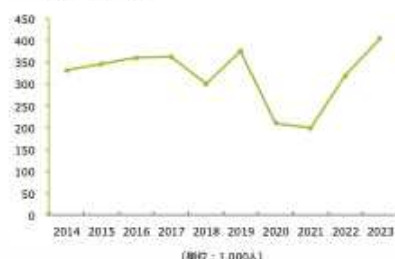


観光客数

【出典】北海道観光人込数調査報告書



観光客数推移



98

2 市町別概要

(3) 浜中町



人口	5,507 人
面積	423.63 km ²
人口密度	13 人/km ²

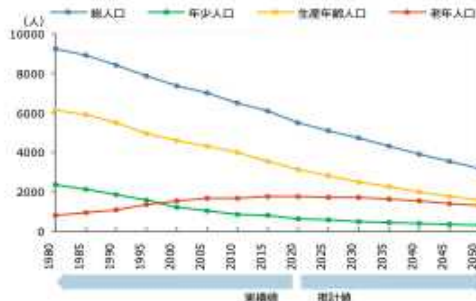
第1次産業	50.2 %
第2次産業	16.1 %
第3次産業	33.7 %

特徴

浜中町は北海道東部、根室管内に位置し、太平洋に面する。面積約513 km²、森林と牧草地が広がり、酪農と漁業が基幹産業である。霧多布岬や霧多布湿原など自然景観に恵まれ、湿原には多くの野鳥が飛来する。霧が多く、霧多布湿原はラムサール条約登録地でもあり、貴重な湿地生態系が保全されている。

人口推移

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



人口増減

【出典】総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（再編加工）。
【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。



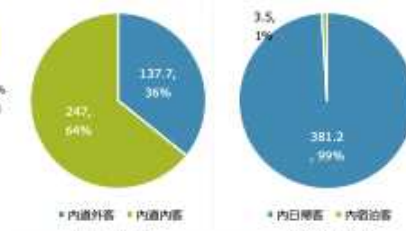
産業構成割合

【出典】総務省「経済産業省「経済センサス」活動調査」、総務省「経済産業省「経済構造実態調査（産業構造調査）」

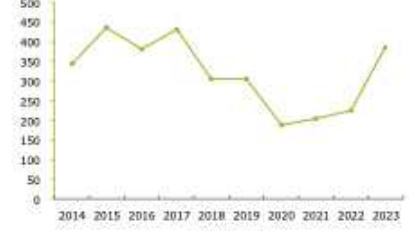


観光客数

【出典】北海道観光入込客数調査報告書



観光客数推移



93

2 市町別概要

(4) 厚岸町



人口	8,892 人
面積	739.27 km ²
人口密度	12 人/km ²

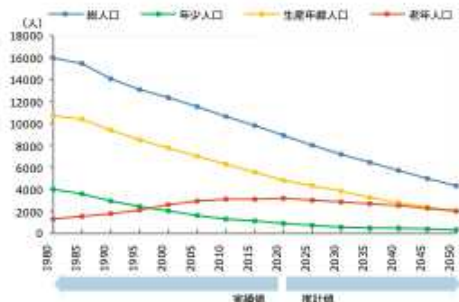
第1次産業	30.4 %
第2次産業	20.6 %
第3次産業	49.0 %

特徴

厚岸町は北海道東部、釧路振興局管内に位置し、太平洋に面する漁業と酪農の町である。面積約808 km²で、厚岸湖や霧多布湿原に囲まれ、牡蠣や帆立の養殖が盛んである。厚岸湾は渡り鳥の飛来地として知られ、自然環境に恵まれ、観光資源としても重要な地域である。

人口推移

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



人口増減

【出典】総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（再編加工）。
【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。



産業構成割合

【出典】総務省「経済産業省「経済センサス」活動調査」、総務省「経済産業省「経済構造実態調査（産業構造調査）」

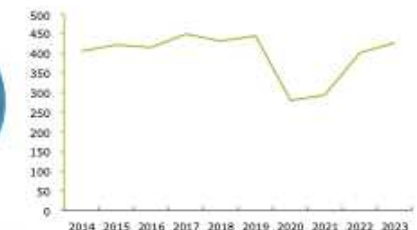


観光客数

【出典】北海道観光入込客数調査報告書



観光客数推移



94